

19/12/27 特別史跡名古屋城跡全体整備検討会議 石垣部会（第33回）

終了後の名古屋市記者会見

（名古屋市民オンブズマンによる、半自動文字起こしアプリによる文字起こし）

中日：中日新聞中山です。

名古屋市側として、今日の石垣部会全体を通してご感想と言いますか所見をお願いします。

佐治：所見ですか。今厳しい御意見もございましたけど、とりあえず予定していた議題はすべて審議していただいて、一定の方向性が出たものですから、そういった部分でいうと、大きな成果があったなというふうに感じております。

毎日：毎日新聞の野村です。

最後の方に、文化庁から見えた方から、トレンチの調査が必要かと思うというような発言があったかと思うんですけども、その調査っていうのは今現在現状変更許可申請ですか、もうすでに出しているものに含まれているものなのか、また新たに出さなければいけないものなのか。

佐治：追加の箇所になろうと思いますので、そこをまあ調査するということになれば、新たに現状変更許可を必要としますので、また新たに申請をするという手続きが必要となってまいります。そのことにつきましてはまた部会の先生方とこの場でご議論いただいて追加の調査をすることが決定した上で、文化庁の方に現状変更許可申請を新たに出していく、そういった手続きを踏んで行くとい、そういったことになるかと思えます。

市：その他よろしいですか。

記者：すみませんたびたび、埋蔵文化財部会の考え方について改めて教えていただけますか。

佐治：今日冒頭ですね、埋蔵文化財部会を設置する、申請するという方針を前回8月の部会の時にお示しさせていただいたんですが、いろんなこの間の検討をうけてですね、あらたな部会は設置しないということをお知らせさせていただきました。申請するということを撤回させていただいたわけがございます。

で、埋蔵文化財をどういう体制で審議するかということにつきましては、石垣と関係が深いということで、石垣部会でやってもらうということは一つの選択肢としてあると思うんですが、ただ他にもいろいろ庭園にかかる部分であるとか、他の建造物、埋蔵物でござい

ますので、そこにつきましてはどの部会でどういう権限をあたえるかということをしっかり検討した上で、その権限の付与については親会である全体整備検討会議に諮った上でどういうふうに扱っていくかということを決めていきたいと思えます。

記者：フリーの井澤と申します。

これだけ長いこと石垣部会が開かれなかった理由とですね、ちょっと話を蒸し返すようですけれどもその、石垣部会が全員首だというようにおっしゃるとか、その辺の経緯というのはちょっと教えていただけますでしょうか。

佐治：前回の部会が8月5日だったと記憶してますので、その後ですね、他の市議会が9月定例会の中で今ご指摘があったような質問がありましてですね、ちょっとなかなか部会が開けない状況でございました。ただまあその間いろいろ部会の方々と共有する中で、この間11月4日の日にですね、部会の方々と対話、対話ということを経験をしまして、市長も出席した上でですね、先ほど部会の方々がおっしゃられた方向性の確認ということをしたわけでご覧しまして、それで次の部会をいつ開催するかということ水面下で調整した結果、今日に至ったという、そういったこととございます。

名古屋市：その他よろしいですか。

じゃあこれで一度切らせていただきます。これで今日の工程は全て終了となります。